

平成28年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

事業名	地域・家族の育児参加推進&子育てしやすい街づくり事業
団体名	小平はぐくみプロジェクト
担当課名	子育て支援課

① 目的の共有（事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めたか）

団体自己評価：十分に達成できた	担当課自己評価：十分に達成できた
<p>・地域ぐるみ、家族ぐるみで子育てに関わり、子育てしやすい街づくりを目指す、という目的を共有し、事業を進めることができた。</p>	

② 自主・自立の尊重（双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めたか）

団体自己評価：十分に達成できた	担当課自己評価：十分に達成できた
<p>・事業の企画・運営に関しては、団体の自主性を尊重していただき、事業を進めることができた。</p>	

③ 相互理解（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、柔軟な対応が図られたか）

団体自己評価：十分に達成できた	担当課自己評価：十分に達成できた
<p>・地域の子育て応援団として活動する団体の在り方を理解し、尊重していただいた。</p>	

④ 対等関係（互いの事業活動における対等な立場を踏まえ、事業を進める様々な場面において、適切な協議、意見交換等の機会を設け一方的に決めることなく十分に話し合ったか）

団体自己評価：達成できた	担当課自己評価：達成できた
<p>・事業の企画・運営に関しては、団体に一任されていたため、意見交換が十分であったとは言えないものの、助言をいただいたり、他の関係部署に繋いでいただいた。</p>	

⑤ 情報の共有（相手方と十分な情報の共有ができたか）

団体自己評価：十分に達成できた	担当課自己評価：十分に達成できた
<p>・事業の進捗状況をその都度、報告しながら進めた。また、配布チラシの確認をお願いし、広報は協力して行った。</p>	

⑥ 役割分担と責任の明確化（事業実施にあたって役割分担が明確に定められていたか）

団体自己評価：十分に達成できた	担当課自己評価：十分に達成できた
<p>・団体は事業の企画・運営を、担当課は広報を中心に担っていた。</p>	

⑦ 協働事業の相乗効果（市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができたか）

団体自己評価：十分に達成できた	担当課自己評価：十分に達成できた
<p>・協働することで、子育て応援カードを対象者に数多く配布することができたこと、事業の信頼度が増し、協力団体・店舗の事業者数が拡大したことは、大きな成果だった。また、団体独自のネットワークを活かして、子育て世代向けの講座に多くの参加者を募ることができた。</p>	

⑧ 目標の達成（事業の目的が達成できたか）

団体自己評価：十分に達成できた	担当課自己評価：十分に達成できた
<p>・子育て応援カードの協力団体・店舗の新規登録の目標軒数には至らなかったものの、事業全体の目的は概ね達成することができたと実感している。</p>	

⑨ 地域の課題解決（事業を通じて地域の課題解決につながったか）

団体自己評価：十分に達成できた	担当課自己評価：十分に達成できた
<p>・「講座事業」と「子育て応援カード事業」を通して、今どきの子育て事情をより多くの方々に知ってもらえたこと、子育てに関心を持ち応援してくれる方々が増えたことが、何よりの成果だった。父親や祖父母の育児参加のきっかけとなり、母親の頑張りすぎや孤立防止にも繋がったと実感できた。</p>	

⑩その他意見（提案団体から）

--

※自己評価項目

1	十分達成できた
2	達成できた
3	概ね達成できた
4	目標を下回った
5	達成できなかった